

## (特非) 共存の森ネットワーク

# インドネシアにおける 「聞き書き」ESDの実践と 活動普及のための基盤構築

つづける助成

1年目

実践

研修参加校 25校

参加者の理解度 98%

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 60%



聞き書き研修会の様子(インタビューの練習)

### 活動内容と成果

- スラウェシ島ゴロンタロ市で、25校、計50人の高校生が参加する研修会を開催。合わせて教員、NGO スタッフ、大学生など35人が参加する指導者養成講座を行った
- 34人の生徒が自然とともに生きてきた名人(農民や職人等)を訪ね、取材し、作品にまとめた
- ジャワ島ボゴールで開催した成果発表会には高校生、大学生、行政関係者、NGOスタッフ、教員など、60人以上が参加し、多くの人の理解、共感を得た
- なお、継続的な実施に向けた現地体制づくりの協議も、大学やNGO関係者と平行して行った



成果発表会に参加した高校生たち

### 課題

インドネシアでは急速な経済発展とともに伝統的な文化や暮らしが圧迫されており、多民族・多文化共生について学ぶESDプログラムが必要とされていること。

### 目標

「聞き書き」の手法を活用したESDプログラムがインドネシア各地で普及し、多民族・多文化の共生、伝統智の復活、生物多様性保全等に積極的に取り組む若者が育つこと。



今後の  
展望

次年度も引き続き、研修や成果発表会を開催。現地の組織体制を整備するとともに、活動普及のためのWebサイトを製作する。

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

インドネシアは多言語国家であるため、地方語で書かれた作品をお互いに理解しづらい。インドネシア語の訳を入れるなど工夫した。

### ■工夫した点

研修実施にあたっては、ゴロンタロ市並びにゴロンタロ大学と連携し、活動資金の支援などを得た。

| 活動地域 |  インドネシア

〒156-0043  
東京都世田谷区松原1-11-26  
コスモリヴェール松原301  
電話：03-6432-6580  
E-mail: mori@kyouzou.org  
<http://www.kyouzou.org>

